

# 労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

2019年5月23日発行

No. 558号 (第51期 3号)

〒454-0055

名古屋市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

TEL/FAX 052-654-1411

<http://aichirousan.web.fc2.com/>

## 一般登山講座 地図読み山行を実施しました。



4月21日(日) 一般登山講座の実技・地図読み山行を白山神社～金華山のミニ縦走にて実施しました。参加者は受講生14名、CL・SL・スタッフ計10名、その他に各会からの参加者計10名、合計34名でした。CL・スタッフ等には、あつた労山、同志会、春日井峠の会、スルジェ山の会、みどり山の会、ふわく山の会、から参加がありました。

前日の20日(土)は机上講座③「地図の読み方・使い方」、講師はあつた労山の森田・松岡両氏で実施しました。講座では、地形図の整置と地形の読み方、磁北偏差と磁石の使い方などの基本的な事柄と、スマホの使い方の講習を行いました。(2ページ目につづく)

《目次》	一般登山講座 地図読み山行を実施しました。	1
	新任役員からのご挨拶	2
遭対部	夏山合宿前のトレーニングと位置づけ、講習会に取り組みましょう	2
〃	6月7日(金)、第2回遭対担当者会議です。	3
教育部	4/18(木) 第2回教育担当者会議を開きました	3
自然保護部	第47回鈴鹿山系清掃登山開催	5
	第4回清掃登山実行委員会開催	5
組織部	4月20日 第3回組織担当者会議を開催	6
〃	あいち平和行進2019への参加を呼びかけます。	6
女性部	女性部便り	7
	カレンダー	8



(1 ページ目のつづき) 21 日の実技山行は岐阜駅集合後バスで琴平に移動し、白山神社にて準備体操。2 パーティに分かれて、権現山・洞山に登りました。洞山では地図の整置と金華山・西山などの山座同定を行い、縦走開始。途中、送電線下、鷹巣山、妙見峠などで現在地を確認し、金華山登頂後七曲りから岐阜公園に下山しました。

二日間の講座と実技で地図読みが理解されたと思われます。

参加された C L ・ S L 初めお疲れ様でした。

## 新任役員からのご挨拶

### 事故防止と 50 周年の取り組みを

#### 副会長 廣田猛 (名古屋山岳同志会)

第 51 期の副会長になりました廣田です。問題山積の県連ですが、協力し合い少しずつでも前を向いて活動していきたいと思えます。

微力ながら私自身が力を入れたいことのひとつは転倒や滑落事故の防止です。道迷いを除けば圧倒的に事故件数の多い転倒・滑落を減らすために、たとえば山筋ゴーゴーの推進をはかりたい。二つめが、県連結成 50 周年を何らかの形にすること。諸先輩たちが築き上げてこられた県連の過去を振り返り、その時々熱い思いを知ることは今後の県連活動に力を与えてくれると思えます。どうかお力添えをお願いします。

### 楽しさの追求

#### 副理事長 森本栄吉 (半田ファミリー山の会)

このたび県連の副理事長になりました、半田ファミリー山の会の森本です。私は 4 月末、会の春合宿で台高山脈を歩きましたが、テント場とか登山道の横付近でソロテントをよく見かけました。またカメラを担いだ若い人の単独の登山者をよく見かけました。パーティーを組んでの登山は、緊急時の対応などより安全なのと思いつつ。また 4 月中旬、会の登山講座生徒と鎌ヶ岳に登りましたが、若い山ギャル、メンに多く出会い登山者は確実に増えているのだなど。登山が楽しい、内容はそれぞれ違いますが「安全に登って、無事に下山する」は、最低限のベースの思いです。微力ではありますが、会員諸氏が安全・安心な登山ができますようにしていきたいと思っています。

どうぞよろしくをお願いします。

## **遭対部** 夏山合宿前のトレーニングとして位置づけ、 講習会（訓練）に積極的に取り組みましょう

夏山合宿に向け各山岳会は、準備の最中と思います。遭対部は、以下3つの講習会（訓練）をおこない安心安全登山を目指します。各山岳会では、意義を理解し、積極的に組織されるよう要請します。なお、確保技術講習会は、実技の日程が変わりました。当初6月16日（日）でしたが、比良山岳センター登攀壁が予約できなかつたので、やむを得ず6月30日（日）に変えました。ご了承ください（「労山愛知」No.556のカレンダーで訂正済）。

### (1) 確保技術講習会について

- ・机上6月10日（月）19：30～県連事務所、三宅講師（じねんじょ山の会）＝より安全な確保について考えます。
- ・実技6月30日（日）滋賀県比良山岳センター登攀壁（詳細は、机上時に説明します）。  
実技は、参加費@2000円です。

### (2) 無雪期救助訓練について

- ・机上6月17日（月）19：30～県連事務所、清水講師（あつた勤労者山岳会）＝なぜ救助訓練を行うのか、実際の救助時なにをどう行うのか？
- ・実技6月23日（日）7：30集合、御在所岳、＝自分たちの装備を使い、受傷者を引き上げ安全な場所、救急車またはヘリコプターの来るまで搬送する。

### (3) 救命救急法講習会について

- ・6月22日（土）9：30～県連事務所、森会長その他で講師担当。内容は夏季に発生しやすい傷病の手当について解説した後、三角巾、テーピングの実技、最後にシナリオに沿ってロールプレイを何回かやる予定です。参加費@1000円。

※講習会（訓練）の申し込みについて

- (1) (2) については、所属山岳会名、氏名、住所、生年月日、遭対口数、血液型、電話番号、緊急連絡先を明記の上、理事または県連事務所へFax、またはE-mailで6月7日までに申し込んでください。(3) については、参加者名を各会の理事または県連事務所へFaxしてください。

## **6月7日（金）、第2回遭対担当者会議です。**

下記の要領で、標題の会議を開きます。担当者は万障繰り合わせの上ご出席ください。

【日 時】2019年6月7日（金）19：30～

【場 所】県連事務所

【議 題】①事故報告 ②直近の課題の確認 ③その他

【出席者】担当者または代理者

## **教育部** 4/18(木) 第2回教育担当者会議を開きました

日 時：4月18日（木）19時30分～

参加者：半田F（新海）、みどり（澤田）、かわせみ（松原）、ありんこ（榎原）

計 4山岳会 4名

### (1) 登山学校の充実等について

- ・今期、「コーチ会議から登山学校の報告等を教育担当者会議へするようにし、登山学校の取組みについて、各会の教育担当者と情報共有・意見交換ができるようにします。」と総会で

決定されましたので、コーチ会議の代表者の出席を要請します。理事会にコーチ会議メンバーのメールアドレスを問い合わせして出席依頼をすることとなりました。

- ・毎年、「実際に登山学校の企画から運営まで担っているコーチ会議が今期の振り返りをし来期の登山学校の取組みにどう反映するのか等の登山学校のまとめをして、教育担当者会議で各会の意見も反映して今後の登山学校に活かす。」といった営みをきちんとすることが、県連全体として登山学校の充実に繋がっていくので、まずは今年の振り返りの提出を依頼することとなりました。（「受講生からアンケートが取られているが、アンケートのまとめ等が出ていないので、出して下さい。」との意見も出ています。）

## (2) 氷雪技術講習会の充実等について

- ・氷雪技術講習会の各会アンケート

第50期10山岳会からの回答がありました。未提出の山岳会は、再度アンケートを依頼しますので、ご協力をお願いします。今期収集後アンケートのまとめをすることとします。

- ・氷雪技術講習会をどのような運営体制で行うかは第50期に話し合い「講座講師の依頼は教育部長が苦勞して個別にお願いしていたこと、実技については登山学校のコーチ会議のメンバーにお任せしていたことでしたが、県連に結集している各山岳会が知恵と労力を出し合いながら、みんなで企画した行事を成功させていくことが本来の県連活動のあり方だということとなり、講座講師・実技講師等を分担し実施しました。（総会議案より）」として取り組んだとおりです。今期もそれを踏襲して実施します。
- ・冬山合宿を実施している山岳会であれば、講座講師・実技講師の担当ができるはずですので、分担して実施していくことが「各山岳会が知恵と労力を出し合いながら、みんなで企画した行事を成功させていくこと」に繋がります。

### (2-1) 具体的な充実施策の提案

- ・日帰りの実技山行（講習）の追加の提案

従来、テント泊での実技山行（講習）しかありませんでした。積雪期のテント泊は（雪を踏み固めてテント場を作ったり、風よけのため雪のブロックを積んだり、雪から水を作ったり等）無雪期と違い、テントでの生活技術も実技山行（講習）の重要な項目の1つでした。しかし、これから冬山をやろうという人の中には、まず日帰りからという人がいることがアンケートよりうかがえます。その人たちを対象に積雪期のテント生活技術を除いた積雪期の行動技術（アイゼンワーク、ピッケルワーク、滑落停止技術、雪崩対策等）を項目とした「日帰りの実技山行（講習）の追加」を提案しました。

- ・一般の方も氷雪技術講習会を受講可（講座のみ）の提案

目的：積雪期は無雪期より危険がいっぱいです。それに対応して安全に登山するためには雪山登山に対する技術を習得する必要があります。一般の方に氷雪技術講習を受講していただき、雪山へ安全に登るといふことの一助となることを目的とする。また、「雪山へ行こう」と意欲のある人に、山岳会というところがどういうところか（本当に安全に登るにはどこかの山岳会に所属すること）等を肌で感じてもらう機会とする。

トムラウシの事故以降、一般登山講座は、山岳団体として一般の登山者の方々に安全登山を広める役割を担って取り組んでいます。その延長線上に氷雪技術講習会もあると考えます。

実技山行（講習）については、どのように安全を担保しながら行うかの検討が必要なため、第51期では講座のみ対象としたい。

- ・上記提案を理事会に提案し了承後、具体的な段取り（募集の仕方、受講料等）を決定します。

### (3) 各種講師料等の提案について

- ・各専門部で行っている登山学校・各種講習・各種訓練・各種つどい等の講師料について県連としてどうしていくかを提案しました。この提案は、教育部長としての個人提案とし、理事

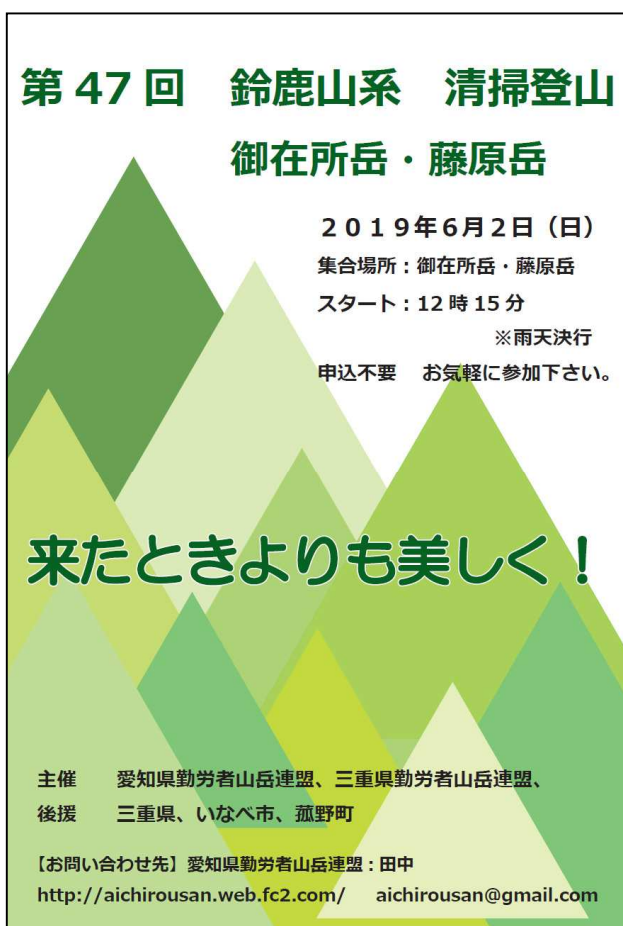


会へも教育部長としての個人提案として提案していくこととします。この提案を契機に理事会で県連全体として講師料等をどうしていくのかの見解が出されてから、その見解に沿って今期の氷雪技術講習会の講師料等を見直すこととなりました。

(4) 今後の教育担当者会議の充実

・まずは各会の教育活動項目・内容を紹介しあうことからとし、昨年紹介されていない山岳会はぜひ自分の会でどのような教育活動をしているかを紹介することとします。各会での教育上の悩みや疑問が解決できるような会議とするように、そこから発展させ、具体的な交流（例えば、技術交流の実施等）ができるように充実していくということを会議のメインに据え、開催することを確認しました。

## 自然保護部 第47回鈴鹿山系清掃登山開催



**第47回 鈴鹿山系 清掃登山**  
**御在所岳・藤原岳**

2019年6月2日(日)  
集合場所：御在所岳・藤原岳  
スタート：12時15分  
※雨天決行  
申込不要 お気軽に参加下さい。

**来たときよりも美しく！**

主催 愛知県勤労者山岳連盟、三重県勤労者山岳連盟、  
後援 三重県、いなべ市、菰野町

【お問い合わせ先】愛知県勤労者山岳連盟：田中  
<http://aichirousan.web.fc2.com/> aichirousan@gmail.com

2019年6月2日(日)に第47回鈴鹿山系清掃登山を御在所岳・藤原岳の両山域で実施します。毎回回収するゴミの量は確実に減少しています。これも会員皆様の努力によるものと思います。また、この運動を通じて一般の登山者のモラルの向上もあげられると思います。今年もゴミを見つける事が大変かと思えます。清掃登山は、ゴミを拾う事だけが目的ではなく、この活動を通じて山の大切さ自然の尊さを再認識することです。

皆様の奮っての参加をお待ちしています。

## 第4回清掃登山実行委員会開催

日時：2019年5月8日(水) 19時30分～

場所：県連事務所

参加者：堀木(じねんじょ)、副田(スルジェ)、吉田(くらら)、中根・鋤柄(ふわく)  
榊原(ありんこ)、太田(春日井峠)、山本・兼子(みどり)、渡辺(同志会)

塚原（かわせみ）、石黒・高木・田中（あつた） 14名10山岳会

- 1 利用コース及びパーティー数を確認する。  
御在所岳：あつた（3）、半田FM（2）、くらら（4）、ふわく（8）、同志会（5）  
アリス・じねんじょ・みどり・若駒・おやこ・東海山岳会（1）  
名古屋山歩会・ASC・東三河（未定）  
藤原岳：ふわく（2）、犬山マップ・春日井峠・かわせみ・ありんこ（1）  
※（ ）内数字はパーティー数を示す。
- 2 リーフレットに掲載する内容の確認をする。  
山頂アピールの文章・各山岳会の問い合わせ先の確認
- 3 当日の担当業務内容とタイムスケジュールを決める。  
特に注意喚起をした点が御在所岳におけるゴミの回収の件。  
「分別してゴミの回収をする」「回収場の締切り時刻を15時30分とする。締切り時刻を過ぎて持ち込まれたゴミは、各山岳会で処分をすることになる」です。  
御在所岳における山頂受付は、前回の反省を踏まえて14時まで行う事を決める。
- 4 ゴミ回収場は、前回と同じ「湯の山パーキングセンター」を使うことを決める。
- 5 各山域の自治体（いなべ市、菰野町）から、リーフレットに掲載するメッセージを頂いたことを連絡する。
- 6 その他  
原則、雨天決行ですが、やむを得ず中止する場合の判断基準を次回までに決める。  
御在所岳の山頂受付で利用する机を御在所ロープウェイが貸していただける事を報告する。
- 7 ハルザキヤマガラシ駆除の件  
5月19日（日）は5山岳会59名参加で実施。  
駆除した物を入れるゴミ袋は三重県庁から頂ける事、またそのゴミ袋は太平洋セメントが下まで運び、いなべ市が処分する旨を報告する。

## **組織部 4月20日 第3回組織担当者会議を開催**

出席者：あつた（森田）、アリス（大石）、ありんこ（榊原）、春日井（弘中）、スルジェ（岩田）、同志会（吉川）、みどり（杉浦）、

### 1) 一般登山講座の準備

- ①講座の準備——5月18日（土）、6月8日（土）の準備をロジ表など作成し打合せしました。
- ②実技山行の準備  
5月19日（日）御在所岳、5月26日（日）代替山行——継鹿尾山～鳩吹山の打合せをしました。担当者を分担して決め計画書を作成します。
- ③各会ホームページへの掲載依頼——6月8日の公開講座「登山と地質：足下の石を見て、大地の鼓動を感じよう」を各会HPに掲載を依頼しています。
- ④アンケート、一今後の講座の改善に活かす為、受講生に対するアンケートを準備しています。

- 2) 会員拡大の取組み——昨年会員を拡大している会、減らしている会の集会を見学し教訓などを学ぶことを予定しています。（若駒山岳会 かわせみ山楽会、ふわく山の会、等）
- 3) あいち平和行進の日程表を取り寄せています。（労山愛知第557号掲載は昨年準じて仮に作成しましたので、別途メール配信します。）
- 4) 労山運動の理念についての討議資料（NO.1）を発行し、組織部と理事会に配布しています。今のところ、特に意見・質疑等はありません。

## あいち平和行進 2019 への参加を呼びかけます。

5月31日湖西市を出発し6月11日各務原市での岐阜県への引き継ぎまでの、あいち平和行進2019への参加を呼びかけます。あいち平和行進は原水爆禁止国民平和大行進の一環として取り組まれます。以下にこの実施要綱(抜粋)を掲載します。県連では愛知県内の全行程を結ぶように取り組んでいます。平和であってこそその登山です。一步でも二歩でも、少しの区間でもお近くの行進に参加しましょう。

### 2019年原水爆禁止国民平和大行進実施要綱(抜粋)

2019年2月20日行進事務局

来年、2020年は広島・長崎の被爆から75年を迎えます。国連は2年前の2017年7月、核兵器を全面禁止する「核兵器禁止条約」を採択し、いま多くの国の国民が条約発効へと動いています。昨年暮れの国連総会では、禁止条約に賛成の国が加盟国の3分の2にのぼりました。

アジアと世界の緊張の火種となっていた朝鮮半島でも、南北首脳会談、米朝首脳会談を経て非核化と平和体制構築へと、一步一步、あゆみが続いています。戦争ではなく平和を！核兵器の廃絶を！とのたゆみない運動と世論の力が、歴史を動かしています。

日本は、人類でただ一つ、核兵器の惨禍を国民が体験した国です。その被爆者の体験と原水爆禁止の国民的運動が、核兵器の禁止・廃絶へと世界を動かしてきました。

核兵器保有国は、禁止条約に反対し続けています。日本政府もまた、「核の傘」の名でアメリカの核兵器に依存する態度をとっています。しかし「安全の為に核兵器が必要」などという理屈を受け入れれば世界は核兵器だらけになってしまうでしょう。

1958年以来、日本国民の声を一つに結び、原水爆禁止世界大会ら届けてきた国民平和大行進が、いま大きな役割を果たす時です。行進が全国を歩く今年に参議院選挙が行われます。非核平和の国民の声を政治に届け、反映させるチャンスでもあります。

## 女性部 女性部便り

6月の講演会「膝のトラブルに向き合う」を下記の様におこないます。

日時：6月15日(土)午後1時～午後3時

場所 県連事務所

講師 宮下 征夫氏(中津川勤労者山岳会)

会費 500円

宮下氏は1969年4月に「登山を楽しく安全に広め発展させること」を目標に中津川勤労者山岳会を創立、その後アルプス三大北壁を登頂し、その後、1995年からはトレッキングガイドとしてキリマンジャロ、スイス、フランスアルプス等で活躍されました。1997年に「変形性膝関節症」を発症、2017年に両膝を手術。現在は本格的な登山活動へ復帰すべくリハビリと筋肉トレーニングを継続されています。発症から現在に至るなかで復帰に向けて実践されたことや工夫された事などを講演していただきます。

参加申し込みは各会の理事または女性部担当まで

【編集後記】◆夏が近づいてきて、これからの時期は各種講習会や行事が目白押しです。是非積極的に利用してみんなでレベルアップをはかりたいですね。(事務局 井土)

## Schedule 2019

6月			7月			8月		
1	土		1	月	登山学校理論⑭	1	木	
2	日	第47回清掃登山	2	火		2	金	
3	月	登山学校理論⑨	3	水		3	土	
4	火		4	木	女性のつどい⑤	4	日	
5	水		5	金		5	月	
6	木	清掃登山実行委員会⑦ 女性のつどい④	6	土	登山学校実技 C8 理事会⑧	6	火	
7	金	遭対担当者会議②	7	日		7	水	
8	土	一般登山講座⑥	8	月		8	木	
9	日	登山学校実技 C5	9	火		9	金	
10	月	確保技術講習会机上 登山学校理論⑩	10	水		10	土	第4回山の日記念全国集会
11	火		11	木		11	日	第4回山の日記念全国集会
12	水		12	金	夏山合宿遭対連絡会議	12	月	
13	木	理事会⑦	13	土		13	火	
14	金		14	日		14	水	
15	土	女性部講演会「膝のトラブル に向き合う」	15	月		15	木	
16	日		16	火		16	金	
17	月	無雪期救助訓練机上 登山学校理論⑪	17	水		17	土	
18	火		18	木	教育担当者会議⑤ 自然保護部会③	18	日	登山学校実技 C9
19	水	自然保護部会②	19	金		19	月	
20	木	教育担当者会議④ 組織担当者会議⑤	20	土		20	火	
21	金		21	日		21	水	
22	土	救急救命法講習会 登山学校理論⑫	22	月		22	木	自然保護部会④
23	日	無雪期救助訓練実技 登山学校実 C7	23	火		23	金	
24	月	登山学校理論⑬	24	水		24	土	
25	火		25	木	理事会⑨	25	日	
26	水		26	金		26	月	
27	木		27	土		27	火	
28	金		28	日		28	水	
29	土	全国組織担当者会議	29	月		29	木	
30	日	全国組織担当者会議 確保技術講習会実技 登山学校実 C6	30	火		30	金	夏山合宿遭対報告会議
			31	水		31	土	理事会⑩

ご意見、ご要望・投稿などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com